

なぜスマートベイなのか？

世の中の潮流からみたスマート化の進展

- 情報通信技術（ICT）の進展により、これまで制御できなかったものを制御し、さらにそれらをネットワークでつなぐことにより、様々なものが連携・補完し、全体的に最適となる周辺環境と調和した持続的な発展が可能となった
- 人口減少や、逼迫しつつある地球温暖化等、様々な課題への対応としてICTを活用した「スマート化」だけではなく、「無駄なく、洗練された手法で、関係する主体が連携しつつ」等いわゆる「スマート」のもつ本来の意味が重要となっている

大阪湾の現状と課題から抽出されるキーワードとしてのSMART

- 【産業・貿易・物流面】 歴史的に強みのある大阪湾産業を支える港湾施設の充実、最先端技術の活用による港湾運営の効率化、物流面における世界とのつながりの強化（持続、先端、伝統、国際市場）
 - 【文化・交流・暮らし面】 国内の成熟社会に対応した魅力ある地域づくり、増加する訪日外国人旅行者への対応（持続、地域、国際市場）
 - 【環境・エネルギー面】 海域環境の改善、廃棄物の適切な処理による生活環境の保全、CO2削減に関する最先端技術の活用（持続、地域、先端）
 - 【安全・安心面】 多発する自然災害から防護するためのインフラ強靱化、地域社会の安全安心を確保するインフラの維持管理（持続、地域）
- 上記より、大阪湾が目指すべき方向性として「持続 (Sustainable Development)」「国際市場 (Market Globalization)」「先端 (Advanced Technology and Society)」「地域 (Regional Cultivation)」「伝統 (Traditional Industry and Culture)」が共通するキーワードとして挙げられSMARTと設定。

伝統を活かし育むための取組 (Traditional Industry and Culture)

我が国が誇りうる歴史や産業を持つ地域として、人々や土地に根差した産業・文化・伝統を地域固有の財産として受け継ぐとともに革新を重ねてそれらを活かし育てることにより、次世代にスマートに繋げていくことを目指す。

■ 大阪湾の伝統的産業の持続的な発展への支援

- バルク貨物等を輸送する船舶の大型化に対応した港湾施設の機能強化や、臨海部の有効活用・再編による産業立地の促進

■ 多様な文化や伝統の次世代継承と、魅力的な地域づくりへの貢献

- 港に関連する食文化や地域の特産物を活かした交流の促進と文化・伝統の継承
- プレジャーボート等による海洋性レクリエーション活動を支え、地域の交流拠点ともなる小型船舶の係留・保管施設や海洋教育のための施設整備
- 近畿地方全域や瀬戸内海といった地域の枠を超えた観光施設の実施

■ みななどに対する市民の認知度や親しみを深める取組の推進

- 運河の再生や「なぎさ海道」を活かした交流空間の形成
- 都市と港のシームレス化による魅せる親水空間の形成

成熟した地域社会を切り拓くための取組 (Regional Cultivation)

少子高齢化や人々の価値観の多様化などの社会構造の変化に伴う生活空間へのニーズの変化や、環境への関心の高まり等、成熟した地域社会に相応しいスマートな対応を目指す。

■ 成熟社会に即して既存ストックを「賢く使う」

- 土地の利用転換や集約再編等、土地の高度利用による産業立地の促進
- 将来展開をみすえた適切な開発空間の留保
- 港湾背後圏の利用形態に沿ったふ頭の集約・再編
- ライフサイクルコストの縮減や平準化並びに施設の効率的な維持管理の実施

■ 産業の新たな展開に対する支援

- 背後の様々な産業からのニーズや地域の特性を踏まえた産業空間の形成
- 多頻度小ロットに対応した複合一貫輸送ターミナル機能の強化・拡充

■ 多様な主体の連携に基づいた海域環境の改善・創生

- 生物多様性に配慮した新たな埋め立てや防波堤等の配置
- 大阪湾の海底窪地埋め戻し等による継続的な環境改善

■ 地域間連携の強化

- 我が国の国際競争力の向上を目指して、大阪湾港湾と西日本各港湾の集貨、創貨、競争力強化に向けた物流情報の共有化と官民連携の促進

スマートベイを実現するために



持続的な発展を支える社会を構築するための取組 (Sustainable Development)

大阪湾で展開される諸活動を支える「社会インフラ」としてハードとソフトの両面から支えていく役割を果たすことを目指す。また、他地域との連携や適切な役割分担の下、我が国の継続的な発展にスマートに寄与することを目指す。

■ 自然災害に対する地域の安全・安心向上施策の推進

- 物流拠点の耐震強化岸壁整備促進や緊急物資輸送機能、幹線貨物輸送機能の確保
- 基幹的広域防災拠点における高次支援機能の深化

■ 安価で安定したエネルギー供給の対応

- 官民連携によるエネルギー及び資源の輸入拠点となる港湾機能の強化
- コンビナート港湾の護岸等における強靱化の推進

■ 経済活動を支えるための連携によるさらなるインフラの充実

- 西日本各地域と大阪湾港湾の結びつきを強化するための国際フィーダー輸送網や物流情報ネットワークのさらなる充実及び強化
- ふ頭間やふ頭と幹線道路網の連結性強化のための臨港道路機能の高度化

■ 持続的な発展を支える循環型社会の形成に向けた取組の深化

- 地方自治体、大阪湾フェニックスセンター、港湾管理者及び国が連携し、大阪湾における新たな広域処分場の整備を促進
- 管理型処分場跡地の港湾用地としての利用促進の検討

世界とつながるための取組 (Market Globalization)

成長著しく、今後世界経済の中心となることが期待されるアジア諸国をはじめとした国際市場とのつながりを強化することで、大阪湾の持続的な発展を目指す。

■ 成長著しいアジア諸国とのシームレス化

- アジア地域との海上輸送の準国内化、高速化を進める為に、貨物自動車と円滑かつ迅速に結ばれたシームレスな複合一貫輸送の強化
- アジア諸国やアフリカ、中南米といった魅力ある海外市場と大阪湾を結ぶ航路の拡大・充実

■ クルーズ振興にむけた受入環境の向上

- クルーズ船の寄港回数の増加や大型化に対応したスマートな受入ターミナルの整備や利用者の円滑な移動を実現する動線の向上
- 利用者の視点に立ったサービスを提供することによる旅客船ターミナルの賑わい拠点化

■ 貿易構造の変化に適切に対応した施設の高度化

- TPPやFTAを見通した農水産品等の輸出対応施設や輸入の増加に対応するコンテナヤードや荷役機械の機能強化

■ 訪日外国人旅行者の文化的・宗教的な多様化への対応

- ウェブサイトの活用による若年層をはじめとした我が国のクルーズ人口の拡大に向けた取組の強化
- 訪日外国人旅行者の持つ様々な宗教や文化（多言語化、ハラール、コーシャ等）に対応した施設の整備

最先端をリードするための取組 (Advanced Technology and Society)

大阪湾に広く集積した「世界初」、「我が国初」、「No.1性能」、「トップシェア」の製品や技術など世界に誇れる分野をスマートに切り拓いていくことで、これらの分野における我が国のトップランナーの実現に貢献することを目指す。

■ 国際標準の港湾サービスの充実による港湾の国際競争力強化

- 港湾管理者、港湾運営会社及び国の連携による港湾施設、港湾運営の深化、強化及び基幹航路の維持及び新たな航路の開拓
- 荷役機械の大型化や高度化等、物流効率化のための施設整備の推進

■ 新興経済国市場への展開を意識した産業支援のための物流システムの構築

- 相手国の成長に伴うニーズの変化に柔軟に対応できる物流システムの構築

■ 世界的な低炭素社会実現の動きに対応するためのICT等の技術の活用

- ターミナルにおける陸電供給施設やLED照明、ハイブリッド化した荷役機械の導入等による温室効果ガス排出量削減に向けた取組の継続
- 環境型船舶指標 (ESI) に基づく環境配慮に認定された船舶への港湾利用料減免措置導入の検討